

Nozomi-Planningレポート

令和2年9月号 Vol.165



撮影地 愛媛 「夏の夕暮れ」
撮影者 大西 麻子

●今月のTOPICS●

【労基・人事労務・労務管理】

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う月額変更の特例
- ・新型コロナで休業手当が支払われなかった人に支給される新型コロナ支援金
- ・2020年9月より変わる複数就業者の労災保険給付の取扱い

【経営情報】

- ・BCP(事業継続計画)策定による効果

【その他情報】

- ・春・夏・冬のはなし Vol.117
- ・今月の書籍紹介
「AI vs 教科書が読めない子どもたち」
- ・9月の税務と労務の手続き
[提出先・納付先]

のぞみプランニングは「人」に関わるエキスパートとして、人事・労務管理のサポートを通じてお客様の成長・発展に寄与し、そこで働く全ての従業員様・ご家族様・お客様の満足度向上を応援する社会保険労務士を中心とした労務コンサルティング会社です。お客様と共に私たちも成長・発展し、喜びを分かちあい、心を結び合えるよう努めています。

【発行元】合同会社/社労士法人のぞみプランニング
〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F
TEL (06) 6377-6177 FAX (050) 3488-0145

【企画・編集】合同会社/社労士法人のぞみプランニング
〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F
TEL (06) 6377-6177 FAX (050) 3488-0145

理念：「共に学び、共に育み、共に分かち合う」

<http://www.nozomiplanning.com/>



Vol.117 八崎さんの
春・夏・冬のはなし



— あなたは、書けますか 読めますか —

私が医薬事業部の営業所長に就いて間もない頃、宝塚本社に新設する人事部門に突然転勤を命じられた。内資・外資、業種を問わず、数多の会社の玄関先に赤旗が立ち並ぶような時代であった。何しろ人事・労政などは全くの門外漢である私は、夜間に開催される研修会を見つけてはよく参加したものだ。午後7時から深夜12時迄受講し、会場であるホテルに宿泊、朝食後一旦解散して普段通り出社、勤務を終えると再び7時から2日目の研修がスタート…この時初めて、第1回日本漢字能力検定試験（漢検）の開催を知らされた。会社の課長を誘って、千里の関西大学の試験場で受験したのは1ヵ月後、成績は中の上?程度であった。

その後毎年開催の漢検には特に興味を示すこともなかったのだが、コロナ騒動ですべての会合や催し物が消え、気分的に暇になったと思っている時に今夏の開催が目にとまり、45年ぶりにもう一度トライ?家内に話したところ、「その年になって、何の為に?」と笑う。成績がよければ自己満足し、悪ければショックを受けるだけ…?

翌朝、食卓に座ると家内が一枚の紙片を差し出し、この漢字が書けるかと訊く。見るとひっばく、ひぼう中傷、せいさんな場面、ひんしの重症、食べ物のみょうが、これらはすべて朝刊にある振り仮名のついた漢字だと言う。翌日も、また翌々日も— 過去何十年、何の不自由を覚えることなく読んできた新聞、時にはその振り仮名に助けられてもいたが、その親しんできた漢字までもが、いざ書くとすると左の偏は解るが、右の旁が出てこない、またイメージとして多くの漢字の輪郭は頭に浮かぶのだが正確には書けないもどかしさ。しかし不思議なもので、“今朝は多いよ”と差し出す紙が待ち遠しく感じるようになり、気付くとレポート用紙に200語を超える漢字がぎっしり詰まっている。それを見て判ったことは、カ行とサ行の漢字が半数の100語を占め、次いでハ行、タ行。最も少ないワ行は、猥雑(下品でみだら)と藁だけ。Y新聞よりS新聞が6:4で多い。8月15日が近づく程、振り仮名の急増する記事が目立つ。2度書いている漢字をいくつか見付け、早くも忘れていたのかといささかショックで家内共々になが笑い。

それではこれらの漢字の中から比較的易しく、親しんでいると思う漢字の振り仮名で、眼に浮かぶまゝの短文を書いてみた。(新聞の編集者なら眼裏に浮かぶと書く?) Try please!

「丘からふかんすると、そこには風光めいびな山里が続いている。今来た小道をたどり下ってしょうしゃな建物に着く。入口にはこちょうらんの鉢が並び、式場に入るとけんらん豪華などんちょうに、この館の主人のきごうによる祝文がかゝげられていた。ひょうひょうとした老仲人のとつとつとした挨拶のあと、さっそうとした花むこの同級生達が学歌のおうか。つい数年前の戦時中には、しょういだんのせんこうが館を照らし、近くのゆいしょあるかやぶきの家敷が一瞬にしてかいじんに帰した光景に、人々はがくぜんとし、同時にあんたんな気分におちいっていた。」

最後に私がどうしても読めず、書けずの言葉は夭折(若死に)、新聞の見出しに“連鎖の軌”(互いに張り合って勝負を争う)、柿落とし(歌舞伎など)、締めは転失気(おなら、屁)で大笑い。

今日は珍しくスポーツ欄に、投手の矜持と投稿者の蟾蜍(月中頃のヒキガエル)のみ。

これでほぼ2ヶ月続いた日課に終止符をうち、漢検は夏の夜の夢としておこう。

[以下は振り仮名のすべて]

逼迫、誹謗、凄惨、瀕死、茗荷、俯瞰、明媚、辿、潇洒、胡蝶蘭、絢爛、緞帳、揮毫、掲、飄々、訥々、颯爽、媚、謳歌、焼夷弾、閃光、由緒、茅葺、灰燼、愕然、暗澹、陥

筆者紹介：八崎輝義 日本チバガイギー社（現ノバルティスファーマ）教育研修課長、取締役人事統括部長、京都薬科大学常任理事、現京薬会相談役。著書“今知っておきたいエイズ”、“京薬会の120年の軌跡”等執筆。



今月の書籍紹介～一押しの一冊をご紹介します～



「 AI vs 教科書が読めない子どもたち 」

著者 新井紀子

(発行 東洋経済新報社 1,500円+税)

AI (人工知能) によって、10年後なくなる職業・・・など、AIがもたらす将来の「ひと」への影響について、たくさんの書籍が出ていますが、この本はその中でもおすすめの一冊だと思います。

著者の新井紀子氏は、2011年より人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトでプロジェクトディレクターを務め、また、2016年より読解力を診断する「リーディングスキルテスト」の研究開発を主導してきました。

この本では、この2つの研究結果について紹介されており、AIの現状、私たち「ひと」の現状が、よくわかります。

駅の改札が、手動から自動に切り替わったように、新しい技術の登場で仕事なくなることは今に始まったことではありません。その代わりに新しい仕事が創造されるなど、仕事はなくならないと楽観視している人は多いと思います。しかし、社会全体としてはそうかもしれませんが、個人として自らを省みたときに、自分は大丈夫と言えるでしょうか？過去の新技术導入による変化と違い、AIにより失われる仕事は多岐にわたり、しかも今後10～20年という短期間のうちに働く人の半数が職を奪われる可能性もあるのです。

私は、企業の「ひと」の問題に携わる者として、AI時代における「ひと」の仕事とは何なのか。もしかすると、失業者があふれるのか、逆に仕事はAIに任せて、遊んで暮らせる時代が来るのか。そこに至るまでには、企業の労使間トラブルが増えるのではないだろうか、仕事をなくさないために、労働者は自分にどんな実力をつけなければならないのか。など大きな関心を持っています。AIに何ができて、何ができないのか？仕事をなくさないために「ひと」に必要なものは何なのか？この本は、2つの研究結果により、その答えを教えてくださいました。

内容を一部、ご紹介します。

まず、AIとは「人工知能」であり、人間の知能と同等のレベルの能力・知能を持つ機械を示しますが、現在「人工知能」と呼ばれているものは、四則計算を高速で行うコンピューターであり、実は「AIはまだどこにも存在していない」。昨今、「シンギュラリティ」という「真の意味でのAIが自分自身より能力の高いAIを作り出すようになる地点」が来る。と言われていますが、そういう意味でのシンギュラリティは、少なくとも私たちが生きている時代では来ないだろうということです。

もう一つ、著者が行った中高生に対する「リーディングスキルテスト」により、衝撃的な事実がわかりました。このことは、今、社会で働いている労働者について当てはめると、企業が従業員に対して抱えている課題を解決する方法を示唆していると言えるかもしれません。

ぜひ、ご一読あれ(≧▽≦)

(執筆 宮本 真理子)



<9月の税務と労務の手続[提出・納付先]>

10日

- 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付
[郵便局または銀行]
- 雇用保険被保険者資格取得届の提出<前月以降に採用した労働者がいる場合>
[公共職業安定所]

30日

- 健保・厚年保険料の納付[郵便局または銀行]
- 健康保険印紙受払等報告書の提出[年金事務所]
- 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出[公共職業安定所]
- 外国人雇用状況の届出(雇用保険の被保険者でない場合)<雇入れ・離職の翌月末日>
[公共職業安定所]

~ちょっとブレイク~



撮影者コメント

「愛媛県松山市へ旅行にいったときに撮影した写真です。
帰りの飛行機から見えた空がとても綺麗でした。
飛行機に乗る機会があまりないので、空からの景色が新鮮で、着陸までの間ずっと窓から景色を眺めてしまいました。」

撮影者 大西 麻子

当事務所より一言

NBA (アメリカのプロバスケットボールリーグ) が 7/30 から再開しています。例にもれず新型コロナの影響でシーズンが中断されていましたが、フロリダディズニーワールド (広さは東京ディズニーリゾートの 122 倍) 内のバブル (隔離地域) にて、徹底した感染対策を施してのリスタートとなっています。

巨額の資金が動くスポーツビジネスを再び止めることは許されず、対策の本気度はかなりのもの。7 日間にわたって毎日 (!) 行われる新型ウイルスの検査で陰性と診断されなければバブルにさえ入れないルールをはじめ、接触を避けるために食事は機内食のようなものをホテルの部屋で一人取ったり、ファンの入場や観戦も当然許されない状況です。

それでも私たちファンにとっては、宙ぶらりんのままになっていたシーズンの行方を観られるだけで嬉しく、優勝への終盤戦をビール片手にネット観戦する幸せを噛み締めています。がんばれペイサーズ!

今月も手軽に最新情報をお読み頂けるのぞみプランニングレポートをお届けします。

弊社は、「誠実・迅速・熱意」をモットーに、事業主の皆様の労務管理・人事管理のお役に立てるよう日々、東へ西へと奔走しております。「働き方改革への対応」、「組織活性化支援」「社会保険・給与計算」等、お気軽にご相談ください。

今月ものぞみプランニングレポートをお届けできることを嬉しく思います。皆様との「出会い」「ご縁」「絆」に心より感謝申し上げます。

b y 伴野 史明

